

大阪大学 (大阪府)



一人一人への丁寧な指導 ・ 豊富な選択科目 ・ 目的別のコース

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設された伝統ある大学です。2007年10月、大阪外国語大学と統合し、新しい大阪大学となりました。学生の教育においては、高度の専門性ととも、幅広い学際的視野を身につけた人材を育成することに力を注いでいます。

現在は、総合大学として、11の学部があり、そのほか16研究科、6附置研究所、4附属図書館、2附属病院、30を超える教育研究施設などが置かれています。学生数は約23,300名、教職員数は約7,000名です。

大阪大学には、吹田、豊中、箕面(みのお)の三つのキャンパスがあります。日研生プログラムは箕面キャンパスにある日本語日本文化教育センター(GJLC)を中心として実施しています。

※ GJLCは2021年4月から箕面市船場東地区の新箕面キャンパスに移転しました。

② 国際交流の実績 (2021年5月1日現在)

大学間交流協定数 140件、海外留学生数 311人
(原則オンライン留学)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2021年：留学生数 2,612人、日研生 57人
2020年：留学生数 2,611人、日研生 36人
2019年：留学生数 2,594人、日研生 40人



伏見稲荷大社見学

④ 地域の特色

箕面市は大阪府の北部、北摂と呼ばれる地域にあります。「明治の森箕面国定公園」など豊かな自然環境に恵まれています。箕面市の市民が留学生のホストファミリーになって交流する「ホームビジットプログラム」も行われています。

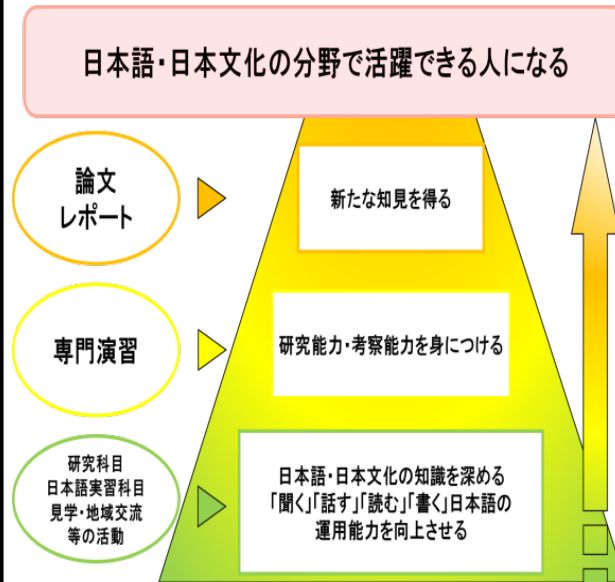


箕面の滝

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(a) 主に日本事情・日本文化に関する研修



② 研修・コースの特色

☆1対1に近い丁寧な指導

学生には必ずひとりの先生がアドバイザーになります。アドバイザーは勉強や生活に対してアドバイスをするほか、毎週、少人数制の授業をおこないます。その授業では、学生ひとりひとりに対して、テーマにあわせた指導をします。

☆自由に選べるたくさんの授業

授業は週に100以上あり、すべて留学生のために準備されたものです。日本語能力を高める授業と、日本語・日本文化についての知識を身につける授業とがあります。学生はレベルや目的にあわせて自由に組み合わせて選ぶことができます。

☆目的に合わせた二つのコース

日研生プログラムには二つのコースがあります。

○研究コース：日本語・日本文化について研究することを希望する学生のためのコースです。それぞれの研究分野に関する知識や方法を学ぶ中で、日本語・日本文化を研究するために必要な能力を身につけます。コース修了時に、研究成果について、論文を完成させます。

○研修コース：将来社会で幅広く活躍することを希望する学生のためのコースです。自らの活動報告やグループ・ディスカッションを行った後、学内外研修に参加したりする中で、日本語・日本文化を考察するために必要な能力を身につけます。コース修了時に、研修成果について、レポートを完成させます。

③ 受入定員

60名 (大使館推薦40名、大学推薦20名)

④ 受講希望者の資格、条件等

次の条件を満たす留学生が日研生プログラムの受講を希望することができます。

1. 渡日及び帰国時点で外国（日本国以外）の大学の学部在学中、日本語・日本文化に関する分野を専攻していること。
2. 日本語学習歴が2年以上あること。
3. 基本的な日本事情の知識を有すること。

⑤ 達成目標

1. 日本語実習科目の授業を受けて、日本語の運用能力を向上させること。
2. 研究科目の授業を受けて、日本語・日本文化についての知識を深めること。
3. 専門演習科目の指導を受けて、研究・考察能力を身につけること。
4. 研究・研修の成果について、日本語の論文・レポートを作成し、口頭発表できるようになること。

※ 大阪大学の日研生の多くは修了時に日本語能力試験N1合格レベル以上の日本語運用能力に到達しています。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2022年9月下旬～2023年8月中旬
(2022年10月1日～2023年8月31日)

※ 9月にオリエンテーションがあります。

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月～2023年8月



紙漉き体験



こんぴら歌舞伎鑑賞

⑧ 研修・年間スケジュール

(2018-19年度実施例)

- 9月 渡日（9月下旬）
- 10月 チューター・ホストファミリー対面式
秋季留学生歓迎会
- 11月 大学祭、研修コース見学（酒蔵）
芸能鑑賞会（宝塚歌劇）
見学旅行（一泊二日・永平寺ほか）
- 1月 芸能鑑賞会（歌舞伎）
研修コース見学（空堀商店街）
- 2月 秋～冬学期試験期間
研究/研修コース中間発表会
見学旅行（一日・和菓子作り体験ほか）
- 3月 大相撲観戦
- 4月 見学旅行（一泊二日・こんぴら歌舞伎ほか）
春季留学生歓迎会
研修コース見学（読売新聞大阪本社）
- 5月 いちよう祭（大学祭）、チューター対面式
研修コース通訳・翻訳セミナー
修了生講演会
- 6月 芸能鑑賞会（文楽）
見学旅行（一泊二日・伊勢神宮ほか）
- 7月 春～夏学期試験期間、修了論文・レポート提出
研究コース論文口頭試問
- 8月 研究/研修コース最終発表会、修了式
帰国（8月中旬頃）



⑨ コースの修了要件

1. 選択したコースごとに定められた数の必修科目と選択科目を修得すること。
研究コース：必修科目2科目、選択科目18科目以上
研修コース：必修科目2科目、選択科目21科目以上
2. 中間発表会と最終発表会に参加し、発表を行うこと。
3. コース修了時に、研究コースは論文を日本語で作成して提出し、口頭試問に合格すること。
研修コースはレポートを日本語で作成して提出すること。

上記の三つの要件を満たした学生について、CJLC教授会が修了判定を行い、修了した学生には修了証書および成績証明書を発行します。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

CJLCの1年間は、秋～冬学期（10～3月）と春～夏学期（4～8月）の二学期に分けられ、どちらの学期も15週あります。授業はすべて日本語で行われます。ひとつの授業（1コマ）は90分間です。学期のはじめに日本語のプレースメントテストがあり、中級・中上級・上級のレベルに分けられます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目・内容

日研生プログラムの必須科目は3種類、必修科目と日本語実習科目、研究科目です。

必修科目（JDR）

この授業は、ただひとつの必修の授業です。各学期1コマ（30時間）、学生ひとりひとりの研修テーマにあわせて、論文やレポートを作成するための指導をきめ細かくおこないます。これは日研生専用の授業で、大阪大学の日研生プログラムの最大の特色になっています。

修了論文の一例は以下のとおりです。

- ・ 翻訳における役割語
- ・ アニメ・漫画における関西弁
- ・ 日本語と韓国語の温度表現の比較
- ・ 日本語教育におけるアクセント指導について
- ・ 上方落語について
- ・ 日本の大学における怪談話 など



II) 選択科目・内容

★日本語実習科目（1週あたり約60コマの授業を提供）
日本語能力を高めるための授業です。初中級・中級・中上級・上級の4つのレベルにあわせて、少人数で行われます。次の6種類の科目があります。
読解、聴解、文章表現、口頭表現、
文法・語彙：文法や句型を中心に、すべての日本語能力の基礎になる語彙力を高めます。
漢字・語彙：漢字や漢語を中心に、すべての日本語能力の基礎になる語彙力を高めます。

★研究科目（1週あたり約40コマの授業を提供）

日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や方法論を身につけるための科目です。中上級・上級の2つのレベルがあります。

研究科目の主な開講科目は次の通りです。

日本語学研究：音声学・音韻論/形態論/統語論/語用論/意味論/類型論/方言/日本語史

日本語教育学研究：教授法/会話分析/

第二言語習得/異文化間コミュニケーション

日本思想文化研究：伝統文化/宗教文化/民俗学

日本歴史文化研究：日本史/茶道/日本服装史/日本美術

日本文献文化研究：日本文学（古典文学/近現代文学）/伝統芸能

日本近現代文化研究：社会学/女性学/比較文化

日本社会文化研究：経済学/国際関係論

など

「日本語実習科目」と「研究科目」は、各学期とも週に合計100コマ以上あります。その中から、秋～冬学期・春～夏学期あわせて18コマ（540時間）以上を、レベルや目的にあわせて自由に組み合わせて選びます。留学生のために準備された授業がこれだけ多く提供されているのは、大阪大学の日研生プログラムの特色の一つです。

備考：単位認定、単位互換

単位認定・単位互換については、学生の出身大学の判断に委ねています。出身大学での単位認定が必要な場合は、具体的なカリキュラムの内容について、申請を行う前にメール等で問い合わせてください。



和菓子作り体験



最終発表会

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

「必修科目」では、実地見学や研修があります。

（例：酒蔵見学・商店街見学・新聞社見学・通訳翻訳セミナーなど）

「研究科目」の授業では、授業の内容に合わせて必要な実地見学を行います。

（例：美術館見学・能楽鑑賞など）

また、日本文化についての理解を深め、日本語能力を高めるために、学内外のさまざまな活動を計画しています。（例：見学旅行・歌舞伎鑑賞・文楽鑑賞など）

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

日本人学生と共に学ぶ授業として、日本文献文化研究（古典文学）が秋～冬学期と春～夏学期の両方で開講されています。また、日本語能力に応じて、春～夏学期に限り、他学部で開講されているいくつかの日本関係の授業も提供しています。

⑪ 指導体制

1. 日研生プログラム担当教員：
佐野方郁、柴田芳成、立川真紀絵、松村薫子
水野垂紀子、山川太
2. 指導体制・学生の所属等：
学生はCJLCに所属します。学生の指導は、上記教員を含むCJLC教員が担当します。

※必要に応じて、日本人チューターが学習を手助けします。

■宿 舎

日研生が入居する寮として、キャンパス内に学生寮（寮費：月額5～6万円程度[注]）があります。寮に入居できない場合は、民間アパート（家賃：月額6万円程度）を紹介しています。

[注] 2021年度現在の金額です。

■修了生へのフォローアップ

CJLCでは、「日研生修了生追跡調査プロジェクト」を組織して、Eメールやフェイスブックを通じて、修了生の近況の把握、情報の蓄積に努めています。修了生の主な進路は、大学院生、大学教員、大使館職員、日本企業勤務などです。

また修了生の必要に応じて、成績証明書・修了証明書を発行しています。そのほか、毎年「修了生講演会」を開催し、本学で大学院生として学んでいる修了生と日本の企業や地方自治体などで働いている修了生を招いて、在校生に修了後の進路についての情報を提供しています。



修了生講演会

■問合せ先



<担当部署>

大阪大学 言語文化研究科・外国語学部筑面事務室
日本語日本文化教育センター係

住所： 〒562-8678
大阪府箕面市船場東3-5-10

TEL： +81-72-730-5075（直通）
FAX： +81-72-730-5074
Email： cjlc@office.osaka-u.ac.jp

<ウェブサイト>

大阪大学のウェブサイト
<http://www.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学日本語日本文化教育センター（CJLC）のウェブサイト

<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/>
<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学の日研生プログラムのホームページ
<http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/program/j/>